

第2期中期目標期間評価における改善イメージ(案)

学部・研究科等の現況分析結果

	学部・研究科等の教育に関する現況分析結果(概要)	
1.	○○学部	教育 0-1
2.	○○研究科	教育 1-1
3.	△△学部	教育 2-1
4.	△△研究科	教育 3-1
5.	□□法学部	教育 4-1
6.	□□研究科	教育 5-1
7.	◎◎学部	教育 6-1
8.	◎◎研究科	教育 7-1
		教育 8-1

現況分析結果の「概要」を追加

①

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	教育活動の状況	教育成果の状況	質の向上度
〇〇学部			
〇〇研究科			
△△学部			
△△研究科			
□□学部			
□□研究科			
◎◎学部			
◎◎研究科			

学部・研究科ごとに、分析項目、質の向上度の判定結果を記載

注目すべき質の向上

(〇〇学部)

.....

(□□学部)

.....

(◎◎研究科)

.....

学部・研究科ごとに「注目すべき質の向上」に記載された内容を転載

②

※「研究」についても上記と同様に、「現況分析結果（概要）」について記載する。

教育

〇〇学部

- I 教育の水準 教育 1-2
- II 質の向上度 教育 1-〇

II 質の向上度

1. 質の向上度

[判定]

○○○○○○○○○○○○

③

質の向上度の判定の判断理由として、分析項目ごとに、判定の根拠となった質の向上の内容を記述

[判断理由]

分析項目

教育の活動について、

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

教育の成果について、

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

これらに加え、第1期中期目標期間の現況分析における教育の水準の結果も勘案して、総合的に判断した結果、「○○○○○○○○○○○○」と判断される。

2. 注目すべき質の向上

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

ことは、注目される。

注目すべき質の向上がある場合は、その内容を記述

**研究**

〇〇学部・〇〇研究科

I 研究の水準 ..... 研究 1-2

II 質の向上度 ..... 研究 1-〇

# I 研究の水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

## 1. 研究活動の状況

[判定]

期待される水準〇〇〇〇

分析項目の判定の判断理由として、観点の判定の根拠となった実施状況や成果等と、観点の判定を記述

[判断理由]

「研究活動の状況」については、~~~~~

観点

観点の判定

~~~~~ことから、期待される水準〇〇〇〇と判断される。

以上の点について、〇〇学部・〇〇研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、〇〇学部・〇〇学研究科が想定している関係者の「期待される水準〇〇〇〇」と判断される。

2. 研究成果の状況

[判定]

期待される水準〇〇〇〇

観点の判定の根拠となった、実施状況や成果等を、学術面及び社会、経済、文化面ごとに記述

[判断理由]

「研究成果の状況」については、学術面では、~~~~~
の~~~~~であり、

観点

観点の判定

社会、経済、文化面では、~~~~~

~~~~~ことから、期待される水準〇〇〇〇と判断される。

なお、〇〇学部・〇〇研究科の専任教員数は〇人であり、提出された研究業績数は〇件であった。

学術面では、〇件の研究業績が提出され、研究業績水準判定組織の専門委員が各研究業績の水準を判定（延べ〇件）した結果、判定結果の〇割が「SS」、〇割が「S」であった。

社会、経済、文化面では、〇件の研究業績が提出され、研究業績水準判定組織の専門委員が各研究業績の水準を判定（延べ〇件）した結果、判定結果の〇割が「SS」、〇割が「S」であった。

以上の点について、〇〇学部・〇〇研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、〇〇学部・〇〇研究科が想定している関係者の「期待される水準〇〇〇〇」と判断される。

④

研究業績水準判定結果の概要（提出された研究業績数、「SS」「S」と判定された割合）を、学術面及び社会、経済、文化面ごとに記載。

## II 質の向上度

### 1. 質の向上度

[判定]

○○○○○○○○○○○○

[判断理由]

研究の活動について、~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~。

研究の成果について、~~~~~
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~。

これらに加え、第1期中期目標期間の現況分析における研究の水準の結果も勘案して、総合的に判断した結果、「○○○○○○○○○○○○」と判断される。